

令和 7 年度各専門部会及び相談支援事業者連絡会における取組について

No.	専門部会・連絡会	令和 6 年度		令和 7 年度
		主な取組内容	成果及び結果	主な取組内容
1	居宅生活支援部会 (R6:4 回) (R7:4 回)	①障がい者の地域理解促進について	<ul style="list-style-type: none">障がい者の地域理解促進についてのワーキンググループを立ち上げ、地域移行・地域定着部会からも部会長に参加してもらい、地域支援者向けの研修会資料を作成した。相談支援事業者連絡会、民生児童委員協議会連合会の会議において、地域支援者向けの研修に関する周知を行った。障がいがある人の特性やどのような生活を送っているのか、地域で障がいのある人をどう支援すれば良いかなどの内容で、森田地区、川西地区、九頭竜地区、旭地区にて民生委員・児童委員などの地域支援者への研修を実施した。	<ul style="list-style-type: none">障がい者の地域理解促進について（災害時の対応含む） ⇒地域支援者向けの研修会を継続し、民生委員・児童委員のほか、自治会長や福祉委員に対しても実施する。余暇活動の充実について（移動の課題含む） ⇒余暇活動支援冊子の更新を行う中で、移動に関する課題について対応した支援内容なども盛り込む。親亡き後の課題について ⇒当事者自らが地域で生活していくために必要な情報を得られるような、サービス・制度一覧を作成し、当事者や関係機関へ周知する。
		②新たな地域課題について	<ul style="list-style-type: none">施設入所者等の地域生活への移行が進まない理由や地域で暮らすための課題に関する具体的な協議を行った。優先的に取り組むべき地域課題を抽出するため、障害福祉サービス事業所向けのアンケートを実施し、アンケート回収後の課題の整理を行った。実施した事業所向けアンケートでは、全体の 48.9%の回答を得ており、バス減便による移動困難や親亡き後の不安に関する問題意識が高いことを確認した。	
		③災害時の対応について	<ul style="list-style-type: none">上記②の地域課題抽出のためのアンケートでは、災害時の対応について、重度障がい者の具体的な対応や災害が起きた時の不安などに対する意見が多くあった。	
2	こども部会 (R6:4 回) (R7:4 回)	①教育と福祉の連携について	<ul style="list-style-type: none">教育と福祉の連携については重要なテーマであるため、市教育委員会と障がい福祉課が連携している取組内容などを確認した。	<ul style="list-style-type: none">支援が必要な児童のためのハンドブックについて ⇒部会の意見を元に内容を更新し、関係機関で周知を行う。障がい児や発達に気がかりさがあるこどもの相談支援体制について ⇒関係機関向けに整理された「福井市における障がい相談支援体制」の図について、市民向けにわかるよう整理し、ハンドブック等を用いて周知を行う。児童発達支援センターを中核とした障がい児支援体制整備について ⇒本市における障がい児支援体制の現状や課題に関する協議を行う。
		②支援が必要な児童のためのハンドブックについて	<ul style="list-style-type: none">「福井市支援が必要な児童のためのハンドブック」について、部会の委員がそれぞれの分野から内容等を確認し、意見をとりまとめた。	
		③障がい児や発達に気がかりさがあるこどもの相談支援体制について	<ul style="list-style-type: none">障がい児や発達に気がかりさがあるこどもを適切な支援に繋ぐことができるよう、障がい児支援に関わる各機関の役割と支援内容を明確化するための協議を行い、関係機関向けに「福井市における障がい相談支援体制」を図として整理した。	

3	就労支援 部会 (R6:2回) (R7:3回)	①報酬改定に伴う課題等 検討会の開催について	・部会の委員を対象に6年度の報酬改定内容を踏まえた意見交換を行い、事業所として求められていることなどを確認し、ハローワークなどの関係機関とも課題等を共有した。	<ul style="list-style-type: none"> ・制度研修会について ⇒7年10月から施行される就労選択支援についての研修会を行う。 ・就労支援事業所等合同説明会について ⇒ショッピングシティ・ベルにてふくい障がい者ワークフェアと合同開催する。 ・就労支援事業所総合交流会について ⇒就労支援事業所が一堂に会し、横のつながりを生み出すための交流会を開催する。 ・障がい者就労支援ガイドブックについて ⇒就労選択支援についての内容を盛り込むなどの更新を行う。 ・特別支援学校実習の日程共有について ⇒就労選択支援の施行を見据え、県や特別支援学校とも連携し、実習日程を就労支援事業所と共有する。 ・一般就労移行研修について ⇒一般就労移行に向けた支援の在り方などについての研修を行う。 ※これら取組を含め、より効果的な取組となるよう、「地域連携」、「支援の質向上」、「一般就労移行」の課題に分けた3グループで協議を行う。
		②就労支援事業所等合同 説明会の開催について	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングシティ・ベルにて、就労支援事業所(24法人)、ハローワーク、生活支援センターふっとわーく、福井市雇用調整員が参加し、障がい者雇用における関係機関の周知、障がい者の就労に関する啓発活動を行った。 ・国・県・市が開催する「ふくい障がい者ワークフェア」と初めて同日・同会場で合同開催したことにより、来場者が200名(前年比+50名)と効果が見られた。(今後も同日開催を希望する意見あり) 	
		③就労支援事業所総合交 流会の開催について	・就労支援事業所(A型、B型、移行)の新任職員40名が参加し、卓球バレーを通じて交流を図るとともに、一般就労移行に関する課題や日頃の悩みごとなどについて意見交換を行った。	
		④障がい者就労支援ガイ ドブックについて	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援事業所や関係機関の情報を一覧にしたガイドブックについて、部会にて内容の見直しに関する意見を聴取した。 ・委員の意見を元に、掲載内容を検索しやすいように様式を見直し、福井市のホームページ上のデータを更新した。 	
		⑤特別支援学校実習の日 程共有について	・特別支援学校の生徒が福祉就労に向けて円滑に移行できるよう、特別支援学校の実習の日程をとりまとめ、障害福祉サービス事業所へ情報共有を行った。	
4	地域移行・ 地域定着 部会 (R6:4回) (R7:4回)	①障がい者の地域移行に 向けての地域住民への 理解促進及び、障がい者 の地域移行に向けた意 識の向上、社会貢献の機 会の増進について	<ul style="list-style-type: none"> ・4つのグループに分かれてグループワークを行い、部会にて各グループの進捗状況を確認し、取組内容に関する意見交換を行った。 【研修グループ】 医療機関における医師以外の医療従事者に対して、地域移行を促進するための研修を実施した。6年度は松原病院への研修を行った。 【地域の理解促進グループ】 地域の支援者向けに理解促進を図るため、木田地区と清水地区の民生児童委員協議会に対して出前講座を開催した。 【アンケートグループ】 研修グループ・理解促進グループと連携し、地域移行に関するアンケートを実施。その結果を分析し、部会での共有を図った。 【ピアサポートグループ】 長期の入院や入所をしている本人及びその家族を対象に、長期の入院や入所から地域移行した当事者を派遣し、その経験などを伝えるピアサポーター派遣事業の周知活動を行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の地域移行に向けての地域住民への理解促進及び、障がい者の地域移行に向けた意識の向上、社会貢献の機会の増進について ⇒各グループがワーキングを適宜開催し、精神科のある病院等への広報活動の実施、地区民生児童委員協議会での出前講座を開催する。また、入所施設、精神科のある病院等へ地域移行に関するアンケートを実施し、3年度に実施したアンケートと比較、検討、検証を行う。 ※運用の見直しを図り、より効果的な協議を行えるよう、【アンケート・広報グループ】【研修グループ】の2グループに編成する。

5	相談支援 事業者 連絡会 (R6:5回) (R7:5回)	①各専門部会との連携強化	・「居宅生活支援グループ」「こどもグループ」「就労支援グループ」「地域移行・地域定着グループ」の4つのランチグループに分かれ、各専門部会での協議内容についての共有し、意見交換や地域課題の提起などを行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会との連携強化について ⇒4つのグループに分かれ、各専門部会での協議内容についての共有及び課題検討を行う。 ・事業所の垣根を越えた相談員同士の関係づくり ⇒グループスーパービジョン等のグループ協議を実施する。 ・制度への理解促進、社会資源の情報共有について ⇒就労選択支援など、新たな制度の理解促進を図る。
		②事業所の垣根を越えた相談員同士の関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな気づきや考え方を学び、支援力の向上に繋げるため、グループで個別事例を共有しながら相談員同士の連携強化を図った。(グループスーパービジョン) ・事業所の垣根を越えた相談員同士の関係づくりが強く根付いていくよう、福井県相談支援従事者初任者研修の受講者 25 名を交えたランチミーティングやグループスーパービジョンを行った。 	
		③制度への理解促進、社会資源の情報共有について	<ul style="list-style-type: none"> ・6 年度報酬改定に関する行政説明を受け、その後のランチミーティングで報酬改定に関する意見交換を行った。 ・介護保険移行に関する行政説明を受け、制度に対する理解を深めた。 	